

◎オホーツクタワーの動物プランクトン分析速報 (2014年10月)

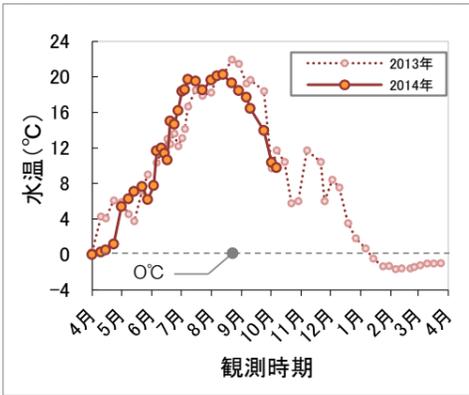
海洋環境データ

動物プランクトンデータ

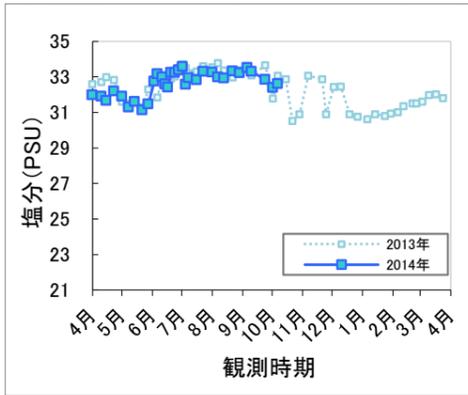
※観測：紋別市

※分析：(株)エコニクス

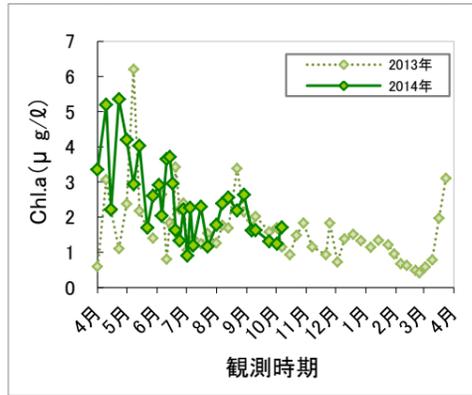
◎水温 (0~9mまでの平均値)



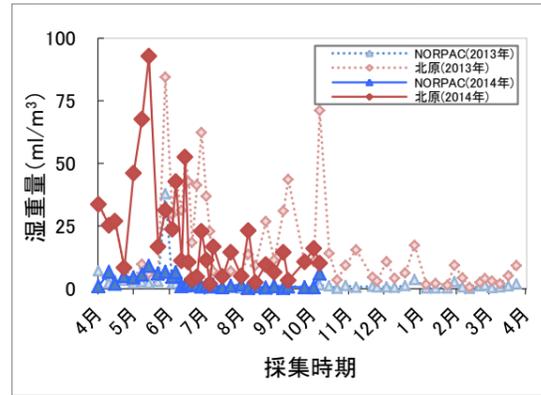
◎塩分 (0~9mまでの平均値)



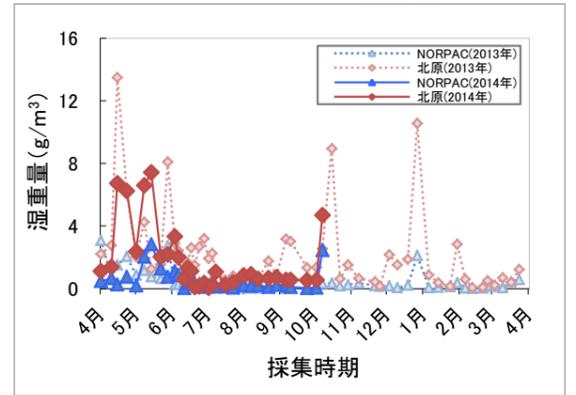
◎Chl. a (0~9mまでの平均値)



◎動物プランクトン・沈殿量



◎動物プランクトン・湿重量



概要

Summary table with columns for dates (10月6日, 10月14日, 10月22日, 10月30日) and rows for water temperature, salinity, Chl.a, sedimentation, wet weight, and species lists.

出現量の多かった種類



●Paracalanus parvus s.l. (カイアシ類の1種)

●Centropages maigo (カイアシ類の1種)

●Oithona similis (カイアシ類の1種)

●Oncaea waldemari (カイアシ類の1種)

●Copepoda (nauplius) (カイアシ類のノープリウス幼生)

●Sabellariidae (larva) (カンムリゴカイ科の幼生)

※種名の先頭に◎がつく種類は、出現量の多い種類を示す。[]内の+ は分析者主観による個体数の多さを示す (+)出現、[+]やや多い、[+]多い、[+]かなり多い、[+]極めて多い。